

コチョウゲンボウ（ハヤブサ科） 全長オス28センチ，メス31センチ

明けましておめでとうございます。今年も頑張ります。

北半球の亜寒帯で繁殖し、冬鳥として日本に渡来するが数は少ない。過去に2回ほど撮影したが、何れも1月と2月の厳冬期であった。雪道の県道でコチョウゲンボウが見つかった。

よく見ると、道路の縁石上で捕えてきたばかりの小鳥を食べていた。道端には雪の塊が積もっていたが、縁石には雪もなくちょうどいい場所だったのでしょう。



縁石で捕えてきた餌を食べる。メスの若鳥と思われる。

すぐ後ろを車が高速で通り過ぎていくが、食べるに夢中で飛び去る気配もありません。餌となった鳥の種類は判別付きませんが、飲み込んだときの脚の大きさからスズメよりは大きくムクドリクラスではないか。

食事の最後は硬くて長い脚が残り、少しためらっていた。苦しそうな表情に見えたが、頑張って飲み込んでしまった。（肉食の猛禽類は、消化しない羽や骨などはペレットとして吐き出します。）



硬くて長い脚、食べられるのだろうか。



食事後しばらく休憩。

やっと終わった食事。そのまま縁石に居座りながら休憩をとり、飛び立って行った。



こちらは、オス成鳥。



後姿もキリッと格好いい。